

保育子ども学科のカリキュラムは、幅広い知識と豊かな感性の習得による総合的人間力を基礎として、キリスト教の人間観と子ども理解に立った保育者養成（幼稚園教諭一種免許課程だけではなく保育士資格も併せて取得する）課程を修めるものである。

また、子どもの未来を共に築く意識を持った人材を養成することを目的として、単なる資格・免許の指定科目にとどまらず、子どものウェルビーイングを保障する教育とケアについて総合的に学び、より広く・深い視野と実践力の育成を到達目標としたカリキュラムを編成している。

保育子ども学科のカリキュラムは、総合的な人間力の育成を目指す全学共通科目および、心理学・教育学・社会学・宗教学等の視野から幅広い人間理解を形成する学部共通科目と、主に保育者養成を目指す学科基礎科目・学科専門科目の4つの科目群から構成される。

学科専門科目については、保育子ども基幹科目群、対象の理解科目群、内容・方法の科目群、基礎教科科目群、演習科目群、実習科目群の6つに分類され、保育者養成にかかわる基礎的科目から応用的・指導法的科目に向けて体系的に配置される。

幼稚園教諭一種免許にとどまらず、保育士の資格課程に関わる科目や保育子ども基幹科目群には「子どもと国際」「子どもと感性」「子どもと心理」の3つのテーマの科目群（講義3科目・フィールドワーク1科目）をおき、学生は3つのテーマからひとつを選択し、少人数での学びを通して、子どもの未来を共に築く、広く・深い視野と実践力を身につける。